

学会だより

◇ 常任幹事会議事録

日時：2015年1月31日（土）14時30分～17時00分

場所：九州大学東京オフィス

出席者：吉村淳，堤伸浩，熊丸敏博，安井秀，最相大輔，宅見薫雄，高牟禮逸朗，北柴大泰，寺石政義，草場信，加藤鎌司，宍戸理恵子，片山健二，石本政男，犬飼義明，佐藤豊，奥野員敏（計17名）

欠席者：岩田洋佳，甲斐浩臣（計2名）

法人化委員会および各常任幹事から経過報告後，一般社団法人化に向けた定款（案）および運営内規（案）作成の進捗状況と作業スケジュール（案），平成26年度決算案の検討，編集委員の推薦，2016年春季大会，2017年春季大会の開催地および開催日程，幹事会の議題，総会の式次第に関して討議を行った。

◇ 幹事会議事録

日時：2015年3月20日（金）15時00分～18時00分

場所：玉川大学2号館406号教室

出席者数：（計44名）：吉村淳，堤伸浩，石川隆二，北柴大泰，笹沼恒男，高畑義人，中村俊樹，石本政男，江面浩，小松田隆夫，半田裕一，矢野昌裕，山本俊哉，吉田均，三吉一光，岩田洋佳，川上直人，二宮正士，矢野健太郎，吉田薫，掛田克行，富田因則，中園幹生，松元哲，村井耕二，清水顕史，築山拓司，寺石政義，吉川貴徳，加藤鎌司，草場信，佐藤和広，一谷勝之，松田靖，熊丸敏博，安井秀，最相大輔，宅見薫雄，高牟禮逸朗，宍戸理恵子，片山健二，犬飼義明，佐藤豊，荻原保成
オブザーバー（1名）：渡邊和男

委任状（計4名）：岩永勝，加藤清明，三浦秀穂，金子幸雄

欠席（計4名）：佐藤裕，貴島祐治，梅原三貴久，甲斐浩臣

1. 報告事項

各常任幹事経過報告

- ・法人化準備委員会（吉村）：法人化に向けた取り組みの進捗状況について説明があった。
- ・総務（安井）：会員数の推移，BS印刷契約，広告代理店契約，税理士顧問契約についての報告があった。
- ・科研費・ホームページ（宅見）：BS科研費の執行について，シンポジウム科研費の申請について，メール配信回数，HPの更新回数について報告があった。
- ・農学会（岩田）：日本農学会大会，日本農学会シンポジウム，成果概要出版，シンポジウムテーマの募集についての報告があった。

- ・会計（加藤）：平成26年度決算・平成26年度資産勘定・平成26年度会計監査結果についての報告があった。
- ・編集（英文誌：片山）：平成26年度の編集状況，BSインパクトファクターの推移，特集号の進捗状況，オンライン公開用PDFファイルの整備等についての報告があった。
- ・編集（和文誌：高牟禮）：平成26年度の編集状況等についての報告があった。
- ・集会（犬飼）：玉川大学大会，新潟大学大会の準備状況等についての報告があった。
- ・地域活動（各地域幹事）：各地域（北海道，東北，中部，近畿，中国四国，九州沖縄）の各幹事より地域活動について報告があった。東北，東海，中国の各地域において優秀発表賞の表彰を実施した旨が報告された。

2. 審議事項

1) 平成27年度学会賞等選考委員（6名）の選出

平成27年度学会賞等選考委員に関する投票がなされ，6名の選考委員が選出された。なお，委員長は内規に従い副会長が務める。

平成27年度学会賞等選考委員：矢野昌裕氏，高畑義人氏，佐藤和広氏，小松田隆夫氏，吉田薫氏，加藤鎌司氏（次点：江面浩氏，石本政男氏，草場信氏）

2) 第12回（平成26年度）論文賞の選考

学会賞等選考委員会より推薦された以下の3編の論文が，出席した幹事の投票により論文賞として承認された。

論文名：Rapid genotyping with DNA micro-arrays for high-density linkage mapping and QTL mapping in common buckwheat (*Fagopyrum esculentum* Moench)

著者名：Shiori Yabe, Takashi Hara, Mariko Ueno, Hiroyuki Enoki, Tatsuro Kimura, Satoru Nishimura, Yasuo Yasui, Ryo Ohsawa, Hiroyoshi Iwata

掲載号・頁：Breeding Science 64(4): 291–299

論文名：Identification of QTLs for fruit quality traits in Japanese apples: QTLs for early ripening are tightly related to preharvest fruit drop

著者名：Miyuki Kuniyama, Shigeki Moriya, Kazuyuki Abe, Kazuma Okada, Takashi Haji, Takeshi Hayashi, Hoytaek Kim, Chikako Nishitani, Shingo Terakami, Toshiya Yamamoto

掲載号・頁：Breeding Science 64(3): 240–251

論文名：Seed formation in triploid loquat (*Eriobotrya japonica*) through cross-hybridization with pollen of diploid cultivars

著者名：Shinji Kikuchi, Miwako Iwasuna, Aya Kobori, Yasunori Tsutaki, Akihiro Yoshida, Yuri Murota, Eisho Nishino, Hidenori Sassa, Takato Koba

掲載号・頁：Breeding Science 64(2): 176–182

3) 平成 26 年度決算・会計監査結果の報告

会計幹事より会計監査の結果健全に執行されていることが報告された。会計監査結果が併せて報告された。審議の結果、原案通り承認された。

4) 平成 27 年度予算（案）の検討

会計幹事より H27 年度予算案について、説明があった。法人化移行に伴い従前の予算案からの変更点について説明があった。主な変更点は次の通り。

- ・従来大会校によって運営されていた大会開催が、法人化に伴い学会本体の予算として計上する。
- ・開催校毎に想定される参加費、懇親会費に基づいて大会収入を算出した。
- ・H27 年度以降、大会校への寄付（春季大会；¥50 万、秋季大会；¥70 万）は廃止する。
- ・大会開催の内訳を明らかにするために懇親会費を大会予算に組み入れる。従来¥1,000 刻みであった参加費および懇親会費を¥500 刻みに変更することにより現実に即した収支にする。

予算内訳については次年度に向けて引き続いて検討を続ける旨、説明された。以上の審議の結果、原案通り承認された。

5) 編集委員の推薦について

3 名の新編集委員の推薦があり、原案通り承認された。

新編集委員：大村三男氏、芦刈基行氏、岩田洋佳氏

6) 育種学会総会について

日本育種学会第 65 回総会・学会賞授賞式・受賞講演の式次第が紹介され、審議の結果了承された。

7) 平成 28（2016）年度春季大会開催地等について

大会幹事より今後の大会開催校について説明があった。

・2016 年春季大会：横浜市立大学、2016 年秋季大会：鳥取大学

・2017 年春季大会：名古屋大学、2017 年秋季大会：岩手大学

審議の結果、原案通り承認された。

8) その他 植物育種学辞典について

9) 一般社団法人日本育種学会の定款および運営内規修正案について

吉村会長より、定款（案）、運営内規（案）の変更点について説明があった。主な変更点は以下の通り。

定款 第 13 条 代議員会 社員総会の名称や設置

第 19 条 決議 ⇔ 定款を書き入れることが出来ないため検討中

第 34 条 事業年度

第 47 条 代議員 → 社員

運営内規 D. 会長（法人の代表理事）の解任に関する事項（（解任要求書の提出先）

N. 調達に関する事項（（追加）

審議の結果、変更点について了承された。

3. 関連報告

1) シンポジウム委員会（村井）

シンポジウム委員会より、2014 年シンポジウムならびにワークショップの育種学研究掲載と 2015 年シンポジウム・ワークショップの募集について説明された。

2) 農学会技術者教育推進委員会（富田）

農学会技術者教育推進委員会委員より、H26 年度には、農学一般及び関連のエンジニアリング分野における JABEE 学士課程プログラムの継続審査が 6 校で実施され、H27 年度には、継続審査が 3 校、中間審査が 2 校でそれぞれ予定されていることが報告された。

3) LMO/ABS 関連（渡邊）

資料に基づき報告がなされた。カルタヘナバイオセーフティー議定書（CPB）関連の現状と遺伝子組換え生物の取扱事案に関する留意点が説明された。

4) 男女共同参画推進委員会（最相）

資料に基づき、H26 年度活動報告及び H27 年度活動状況について説明された。

5) 将来構想検討委員会（最相）

資料に基づき、「地域活動の活発化による会員数の確保」に向けた取り組みについて説明された。

6) 記者発表（岩田）

担当委員より、第 127 回講演会の記者発表について説明された。

4. その他

1) 優秀発表賞の投票方法について

優秀発表賞の投票用紙が幹事に配布され、投票について説明があった。

2) 学生会員から普通会员への変更手続きが分かりにくいとの指摘があり、今後改善策について検討していく事となった。

◇ 総会議事録

開催日：平成 27 年 3 月 21 日（土）13:00～14:30

開催地：玉川大学講堂

1. 各常任幹事報告 庶務（総務、農学会・科研費、ホームページ）、LMO 関係、ABS 関係、集会、英文誌、和文誌：幹事長から各常任委員の報告がなされた。

2. 平成 26 年度日本育種学会論文賞の発表

3 編の論文が学会賞等選考委員会から推薦され、幹事会で承認されたことが報告された。

3. 議事

1) 平成 26 年度決算報告・会計監査報告

担当幹事より平成 26 年度決算報告がなされ、会計監査報告の後、原案通り承認された。

2) 平成 27 年度予算案の承認

担当幹事より平成 27 年度の予算案が提案され、原案通り承認された。

3) 一般社団法人日本育種学会 法人化について

会長より法人化のねらいと前提条件について説明があり、一般社団法人への移行と、定款（案）策定の常任幹事会、幹事会への委託が原案通り承認された。

4. その他

1) 次期開催校紹介：次期開催校の新潟大学・岡崎委員長から挨拶がなされた。

2) 編集委員（英文誌）の紹介：幹事長より編集委員（英文誌）が紹介された。

◇ 平成 26 年度決算及び平成 27 年度予算

(単位：円)

収入の部	平成 26 年度決算額	平成 27 年度予算額
1. 繰入金	16,767,875	17,187,150
2. 会員会費	16,079,000	15,997,000
3. 賛助会員会費	800,000	800,000
4. 掲載料	985,000	1,100,000
5. 別刷 著者負担分	2,802,115	2,800,000
6. 別冊等頒布	3,098,796	100,000
7. 広告料	1,263,200	800,000
8. 寄付金	0	0
9. 雑収入	280,199	150,000
10. 大会収入		
(1) 参加費	—	9,180,000
(2) 懇親会費	—	2,300,000
(3) 出展料	—	430,000
(4) 寄付金	—	100,000
(5) 助成金	—	0
(6) 雑収入	—	10,000
計	42,076,185	50,954,150

支出の部	平成 26 年度決算額	平成 27 年度予算額
I. 事業費		
1. 雑誌刊行費		
(1) 印刷費	7,580,966	10,300,000
(2) 雑誌発送費	734,080	600,000
(3) 英文校閲料	745,995	750,000
(4) オンライン掲載システム管理費	1,539,540	1,550,000
(5) 別刷印刷費	667,620	700,000
2. 別冊刊行費		
(1) 印刷費	2,569,346	—
(2) 別冊発送費	52,879	—
3. 大会費	731,345	—
4. シンポジウム費	169,452	400,000
5. 学会賞費	154,890	450,000
6. オンライン費	1,063,155	900,000
7. 名簿作成費	0	450,000
8. 大会事業費		
(1) 別冊印刷費	—	2,700,000
(2) 別冊発送費	—	60,000
(3) 印刷・制作費	—	320,000
(4) 人件費	—	1,000,000
(5) 消耗品費	—	200,000
(6) 業務委託費	—	4,000,000
(7) 会場設営費	—	1,800,000
(8) 保険料	—	140,000
(9) 懇親会経費	—	1,800,000
(10) 通信費	—	120,000
(11) 会議費	—	300,000

(12) 旅費・交通費	—	50,000
(13) 謝金	—	50,000
(14) 雑費	—	50,000
II. 運営費		
1. 学会分担金	215,590	213,350
2. 事務担当者手当	356,384	400,932
3. 事務費		
(1) 庶務	1,372,170	950,000
(2) 編集		
英文誌	238,399	100,000
和文誌	0	100,000
(3) 集会	157,215	200,000
(4) 会計	48,000	150,000
4. 事務委託費	4,753,320	4,432,000
5. 通信費・送料	506,991	600,000
6. 付属印刷物	149,098	200,000
7. 男女共同参画協会活動費	77,611	140,000
8. 地域活動費	400,000	400,000
9. 育種学事典委員会	1,093	540,000
10. 旅費	64,000	—
11. 税理士顧問料	299,400	432,000
12. 租税公課	—	70,000
13. 雑支出	30,496	160,000
III. 予備費	210,000	160,000
IV. 繰入金		
次年度へ繰入	17,187,150	13,015,868
基金へ繰入		
計	42,076,185	50,954,150

◇ 学会賞・奨励賞授与、受賞講演

開催日：平成 27 年 3 月 21 日（土）15:10 ～ 18:10

開催地：玉川大学講堂

平成 26 年度日本育種学会賞

- ・小松田隆夫氏（農業生物資源研究所）：オオムギの栽培化に関する分子遺伝学的研究
 - ・石本政男氏（農業生物資源研究所）：ダイズ種子成分の分子育種に関する研究
 - ・北海道立総合研究機構北見農業試験場 コムギ「きたほなみ」育成グループ（北海道立総合研究機構北見農業試験場）：多収性・加工適性および穂発芽耐性に優れた北海道向け秋播コムギ品種「きたほなみ」の育成
- 平成 26 年度日本育種学会奨励賞

- ・辻寛之氏（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）：花成ホルモン・フロリゲンの機能に関する遺伝育種学的研究
- ・飯牟禮隆氏（サッポロビール株式会社価値創造フロンティア研究所）：プロテオーム解析に基づくビール大麦品質選抜法の開発
- ・松原健一郎氏（東京大学大学院農学生命科学研究科）：イネにおける初期発生制御機構の分子遺伝学的研究

◇ 第 127 回講演会日本育種学会優秀発表賞

2015 年日本育種学会春季大会（第 127 回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の 13 課題に決定された。

講演番号 308：タバコ属を用いた異科接木への挑戦 ☆野田口理孝^{1,2}・佐藤良勝³・東山哲也^{1,2,3} (1. 名古屋大学大学院理学研究科, 2. JST ERATO 東山ライブホロニクスプロジェクト, 3. 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)

講演番号 P138：イネ耐水性機構の解明 ☆黒川裕介¹・Huan Phung Danh¹・瞿黄祺¹・永井啓佑¹・戸田陽介²・下嶋美恵³・伊藤純一⁴・Colmer Timothy David⁵・Pedersen Ole⁶・Imran Malik⁵・芦刈基行¹ (1. 名大・生命農, 2. 名大・理, 3. 東工大・生命理, 4. 東大・農, 5. 西オーストラリア大学, 6. コペンハーゲン大学)

講演番号 P001：カンキツの果実形質におけるゲノミックセレクションとゲノムワイドアソシエーション解析の可能性 ☆南川舞¹・野中圭介²・神沼英里³・鐘ヶ江弘美¹・小野木章雄¹・後藤新悟²・吉岡照高²・今井篤²・林武司⁴・中村保一³・清水徳朗²・岩田洋佳¹ (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 農研機構果樹研, 3. 遺伝研, 4. 農研機構中央農研)

講演番号 214：日本のイネ品種を用いた GWAS 解析 ☆矢野憲司¹・安益公一郎¹・竹内秀征¹・井成(池田)真由子¹・山崎将紀²・吉田晋弥³・北野英己¹・平野恒¹・松岡信¹ (1. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター, 2. 神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センター, 3. 兵庫県立農林水産技術総合センター)

講演番号 P040：エンレイ高頻度突然変異体ライブラリーの作出と次世代シーケンサーによる突然変異検索方法の開発 ☆津田麻衣¹・加賀秋人¹・穴井豊昭²・渡辺啓史^{1,2}・西村実^{1,3}・山田直弘⁴・佐山貴司¹・高木恭子^{1,5}・清水武彦¹・町田佳代¹・森聡美¹・佐々木晴美¹・金森裕之¹・片寄裕一¹・石本政男¹ (1. 生物研, 2. 佐賀大学, 3. 新潟大学, 4. 長野野菜花き試, 5. 中央農研)

講演番号 416：イネ品種「ひとめぼれ」耐塩性突然変異体の選抜および MutMap 法を用いた原因遺伝子の同定 ☆高木宏樹¹・阿部陽¹・ムルネイタミル¹・吉田健太郎²・及川香織¹・植村亜衣子¹・八重樫弘樹¹・寺内良平¹ (1. 岩手生物工学研究センター, 2. 神戸大・農学研究科)

講演番号 P016：ダイズの開花期関連遺伝子型構成の改変による収量性向上の可能性 ☆佐山貴司¹・加賀秋人¹・渡辺啓史^{1,2}・羽鹿牧太³・山田哲也³・高橋浩司³・菱沼亜衣³・石本政男¹ (1. 農業生物資源研究所, 2. 佐賀大農, 3. 作物研)

講演番号 P069：乾燥耐性をもたらす酢酸の作用に関する研究 ☆小川大輔^{1,4}・金鍾明^{2,4}・草野都^{2,3}・村松昌幸¹・宮尾光恵¹・関原明^{2,4}・土生芳樹^{1,4} (1. 農業生物資源研究所, 2. 理研・CSRS, 3. 筑波大・生命環境系, 4. JST・CREST)

講演番号 P102：イネの茎頂メリステムにおけるオーキシン情報伝達のシグナリング ☆今井順宙¹・佐藤良勝²・東山哲也^{2,3,4}・島本功¹・辻寛之¹ (1. 奈良先端大・バイオサイエンス・植物分子遺伝学, 2. 名古屋大・WPI-

ITbM, 3. 名古屋大・院理, 4. JST・ERATO)

講演番号 207：トマトのゲノミックセレクションにおける集団サイズおよびマーカー数と選抜効果との関係：シミュレーション研究による評価 ☆山本英司¹・松永啓¹・南川舞²・鐘ヶ江弘美²・小野木章雄²・布目司¹・山口博隆¹・宮武宏治¹・根来里美¹・大山暁男¹・岩田洋佳²・福岡浩之¹ (1. 農研機構野菜茶研, 2. 東大院農学生命科学)

講演番号 513：イネ胚乳で発現する REDUCED EMBRYOI (RE1), RE2 は胚-胚乳比率を制御する ☆小林裕美¹・永澤信洋^{2,3}・佐藤豊⁴・伊藤純一¹・Sakai, Hajime²・長戸康郎¹・松原健一郎¹ (1. 東大院農学生命科学, 2. デュポン, 3. 現：秋田県立大生物資源科学部, 4. 農業生物資源研究所)

講演番号 P113：単一植物細胞における全ゲノム解析技術の確立 ☆岩淵裕之¹・高木信幸²・山崎裕之³・松村英生⁴ (1. 信州大学大学院理工学系研究科, 2. 関東化学株式会社技術・開発本部技術・開発部, 3. 関東化学株式会社技術・開発本部伊勢原研究所, 4. 信州大学遺伝子実験部門)

講演番号 P127：アレイマーカー技術を利用した栽培イチゴうどんこ病抵抗性、四季成り性連鎖マーカーの開発 ☆小石原弘明¹・本城正憲²・榎宏征¹・由比進²・西村哲¹・村松正善¹ (1. トヨタ自動車(株)FP部バイオラボ, 2. 農研機構東北農研)

◇ 日本育種学会第 127 回講演会選定課題記者会見報告

発表日時：平成 27 年 3 月 12 日 (木) 14:00 ~ 15:00

会場場所：東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟講義室

出席者：熊丸敏博, 岩田洋佳

講演課題の中から選定された 7 課題について記者発表を実施した。

(1) 講演番号：214

「日本のイネ品種を用いた GWAS 解析」

矢野憲司・安益公一郎・竹内秀征・池田真由子・山崎将紀・吉田晋弥・北野英己・平野恒・松岡信(名古屋大学生物機能開発利用研究センター, 神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センター, 兵庫県立農林水産技術総合センター)

(2) 講演番号：307

「上野公園のソメイヨシノ原木候補について」

中村郁郎・土屋有沙・高橋弘子・真壁壮(千葉大学大学院園芸学研究科)

(3) 講演番号：405

「ダイズの脱粒性を左右する裂莢性 QTL のマップベースクローニング」

船附秀行・鈴木雅也・廣瀬亜矢・稲葉大貴・山田哲也・羽鹿牧太・片山健至・佐山貴司・石本政男・藤野介延(農

研機構北海道農業研究センター, 農研機構近畿中国四国農業研究センター, 北海道大学大学院農学研究院, 農研機構作物研究所, 香川大学農学部, 農業生物資源研究所)
(4) 講演番号: 417

「ダイコンにおけるグルコラファサチン合成酵素遺伝子の同定」

柿崎智博・北柴大泰・Li Feng・Zou Zhongwei・吹野伸子・小原隆由・西尾剛・石田正彦 (農研機構・野菜茶業研究所, 東北大学大学院)

(5) 講演番号: 604

「難消化性澱粉を含む低カロリー米品種. 2. BC2F3 世代の生産力検定」

川本朋彦・柴田智・加藤和直・高橋竜一・藤田直子 (秋田県農業試験場, 秋田県立大学・生物資源科学部)

(6) 講演番号: 608

「低カロリー効果が期待できる高難消化性澱粉変異体米の澱粉特性解析」

立木芳・藤田直子 (秋田県立大学・生物資源科学部)

(7) 講演番号: P001

「カンキツの果実形質におけるゲノミックセレクションとゲノムワイドアソシエーション解析の可能性」

南川舞・野中圭介・神沼英里・鐘ヶ江弘美・小野木章雄・後藤新悟・吉岡照高・今井篤・林武司・中村保一・清水徳朗・岩田洋佳 (東京大・院農学生命科学, 農研機構果樹研, 遺伝研, 農研機構中央農研)

◇ 地域談話会だより

〈四国談話会〉

2014年11月27日, 28日に, 育種学会四国談話会講演会(第79回)および公開シンポジウム(作物学会四国支部と共催)を香川大学農学部において開催した. それぞれの参加人数は, 約20名, 約80名であり, プログラムおよび講演要旨(7, 8)は下記の通りである.

◎公開シンポジウム(2014年11月27日(木)13:00~15:45)

テーマ:「作物の生産現場における水の制御および利活用の新技術」

開会挨拶

(13:00~13:05)

1. 地下水制御システム(FOEAS)

1) 地下水制御システム「FOEAS」の概要

農研機構 藤森新作氏(13:05~13:30)

2) 山口県におけるFOEASの導入とその活用への取り組み

山口県農林総合技術センター 橋本誠氏(13:30~13:55)

2. 点滴かんがいの多目的利用

点滴灌漑技術の最新情報とその多目的利用

ネタフィムジャパン 田川不二夫氏(13:55~14:20)

3. 自然冷熱源の利活用

暑熱環境対策としての自然冷熱源の利活用

香川大学農学部 松村伸二氏(14:20~14:45)

総合討論

(14:55~15:45)

◎日本育種学会四国談話会講演会(第79回)

(2014年11月28日(金)9:30~12:00)

1. イネコアコレクションを用いた葉形質の特徴抽出

○杉田(小西)左江子¹・西原知里¹・千崎雄佑¹・松島淳¹・松垣匠²・朽名夏磨²(1. 香川大院・農, 2. 東大院・新領域)

2. ショクカッコソウと *Primula cortusoides* との種間雑種の作出

○山岡真梨子・大橋広明(愛媛大農)

3. *Pelargonium fulgidum* と *P. oblongatum* との種間交雑後代における花色と花色素

○朝倉健太・本藤加奈・柿原文香(愛媛大農)

4. *Pelargonium tetragonum* の開花に伴う花色と花色素の推移

○嶋本旭寿・本藤加奈・柿原文香(愛媛大農)

5. *Pelargonium trifidum* (Ligularia 節) と *Ciconium* 節との種間交雑

山中歳徳・本藤加奈・○柿原文香(愛媛大農)

6. パルス電圧による放電処理が種子の発芽に及ぼす影響

○栗坂信之¹・野中将輝²・辻田泉³・尾崎良太郎²・門脇一則²(1. 愛媛県東予地方局産業振興課, 2. 愛媛大学工学部, 3. 愛媛県農林水産研究所)

7. Potato researches in Nepal: enhancing productivity and food security

○Rana, B. B.¹, B. B. Khatri², B. P. Sharma², S. P. Dhital², B. P. Luitel², P. Bhattarai², D. Chaudhary², K. P. Upreti², S. Ghimire², T. Kawano¹, M. Masayuki¹(1. Faculty of Agriculture, Kochi University, 2. National Potato Research Program, NARC, Nepal)

8. Development of potato varieties in Nepal

○Rana, B. B.¹, B. B. Khatri², B. P. Sharma², S. P. Dhital², B. P. Luitel², P. Bhattarai², D. Chaudhary², K. P. Upreti², S. Ghimire², M. Masayuki¹(1. Faculty of Agriculture, Kochi University, 2. National Potato Research Program, NARC, Nepal)

日本育種学会会員異動(2015.1.21~2015.4.20)

◇ 普通会員入会: 石塚航(北海道), 蔦木康徳(千葉)

◇ 学生会員入会: 林隆文(北海道), 小澤傑, 杉山輝樹, 東海林愛美(岩手), 平田諒(山形), 武井瞳(茨城), 浅野悟, 芦刈友紀, 谷口高大, 林辰弥, 宮内祥多, 山田優生(栃木), 持田真喜子(埼玉), 西崎菜里子(千葉), 小林裕美, 田中凌慧, 日熊峻吾(東京), AHMAD

MASSOUD MAQSODI, 今西 菜々, AHMADI SAYED,
寺島伸, 中村幸乃 (神奈川), 尾崎雄哉 (愛知)

◇ **外国会員入会** : TURUSPEKOV YERLAN (カザフス
タン), VITHANAGE THILINT JAYAPRADA (スリラン
カ), HAN CHUNG RYOR (大韓民国)

住所変更等

◇ **普通会員** : 塚崎光 (岩手), 後藤元 (山形), 安達俊輔,

河瀬眞琴, 斎藤浩二, 津村義彦, 林正紀, 本田裕, 宮本
尚子 (茨城), 笹川由紀 (東京), 船木武人 (新潟), 中
川仁 (静岡), 松田智貴 (三重), 猪谷富雄, 岩堀英晶 (滋賀),
河田尚之, 南山泰宏 (京都), 横井修司 (大阪), 藤岡唯
志 (和歌山), 西美友紀, 藤田大輔 (佐賀), 今井篤 (長
崎), 鈴木達郎 (熊本)

◇ **学生会員** : NASHIR UDDIN MD (茨城), 服部智宏 (東
京)